

ぶなの森

第83号

令和2年 7月15日発行

発行：社会福祉法人常成福祉会
丹沢自律生活センター
神奈川県秦野市菩提 1711-2
発行責任者：センター長 伊藤崇博
印刷：丹沢自律生活センター
ホームページ：www.jousei.or.jp
アドレス：tanzawa@jousei.or.jp

マスク等の物資のご寄贈に対するお礼

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、複数の団体・企業様個人の方から、マスクなど支援物資をご寄贈いただいております。当法人へのご配慮に対し心からお礼申し上げます。

また、秦野市からは、高橋市長自らお届けいただいております。頂いた物資は大切に使用させていただき、引き続き効率的な運用に努めてまいります。

依然として緊張状態が続く福祉現場のスタッフにとって、地域の皆様からの温かいご支援が何よりの励みとなっております。

これからも、全員が一丸となって、利用する方と職員の双方が安心・安全に過ごせるよう努めてまいります。

*左記に、寄付の一部をご報告いたします。

● 厚生労働省 より マスク

● 秦野市 より

マスク・使い捨て手袋

● 秦野市社会福祉協議会 より

マスク・消毒液

フェイスシールド

(市内小学生製作品)

● (株)エヌエス様 より 消毒液

● 相原工顯様 より 消毒液



高橋市長よりマスクと手袋が手渡されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みについて

7月現在、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みは、継続して行われております。引き続き、入居者への面会は所定の場所をお願いをするとともに、法人事業への営業活動荷物や郵便の配達においても入館をお断りするなどの入館規制を行っております。一部の修理・納入業者等の出入りにおきましても、事前に検温を済ませ、マスクを着用のうえ、アルコール消毒を行ってから入館していただきますようお願いいたします。



(お問い合わせ)

社会福祉法人 常成福祉会 総務部

電話 0463-75-3300

障害者支援施設「丹沢レジデンシャルホーム」

居住者支援については、余暇支援に力をいれました。職員の人員確保が思うように進まない中ではありましたが、昨年度に引き続き、市内外のお祭や身体障害施設協会主催の各種大会への参加をしました。2月からは、コロナウイルス対策のため、外出に関連する行事やサービスを中止せざるを得ない状況となりましたが、その甲斐もあって、一人の感染者も出すことなく過ごせました。

生活介護事業所「花鳥デイサービスセンター（旧：丹沢レジデンシャルホーム 通所）」

普段は利用者個々の希望する活動（歩行訓練・趣味活動・生産活動）や様々なアクティビティを行っています。編物や絵画など、専門的な知識のあるボランティアさんに協力していただいている活動から、カラオケや指ヨガなど、気軽に参加していただけるものまで企画し開催しています。また、秦野ワークセンターとの合同行事では、筍焼きやバーベキューなどを行い、利用者間の交流ができるよう行事を開催しました。サービス評価や利用者会議で要望の多い外出サービスにも力を入れ、利用者の希望する場所や市内公園等の散歩など季節を感じられる場所にも出掛けました。また、恒例の日帰り旅行では、県の福祉バスを利用し、静岡県「富士サファリパーク」へ出掛けました。

多機能型事業所「秦野ワークセンター」（生活介護・就労継続支援B型）

日々の生産活動に加え、市内外の行事への出店や、秦野市障害者地域生活支援推進機構の活動に参加しました。生産活動では、陶芸・印刷・寝具乾燥・手工芸作成・リサイクル活動を継続して行いました。出店については、市内の行事に加え、近隣市町村で開催されているマルシェへの出店や、市内のコンビニエンスストア3店舗を含めた8店舗で委託販売を実施し販路拡大に努めました。レクリエーション活動として、筍焼きやどんと焼きなどの季節が感じられる施設内行事を多数開催しました。また、恒例の日帰り旅行では、福祉バスを利用して横浜中華街に行き、中華料理を堪能しました。社会貢献活動として、ペットボトルキャップ回収の協力や地元北小学校へのベルマークの寄付、激甚災害指定された2件の災害に対して秦野市社会福祉協議会に義援金を贈りました。

相談支援事業所「丹沢自律生活センター総合相談室」

障害のある方への基本相談や計画作成を行うとともに、地域の団体・個人ボランティアのご協力により、IT講習会と彩り茶房（障害当事者とそのご家族のためのサロン）を運営しました。また、秦野市障害者支援懇話会相談部門をはじめとする各種会議に出席し、相談支援体制整備や地域課題の解決に協力しました。

湘南西部障害保健福祉圏域地域ナビゲーションセンター事業では、圏域内市町協議会や各機関と連携し、地域生活支援拠点整備上の課題について協議しました。

また、新たに始まった相談支援体制充実強化事業により圏域内の支援困難事例への対応を行いました。

秦野市障害者権利擁護センター「ライツはだの」では、虐待防止研修に特に力を入れて取り組みました。



生活介護事業所「あじさい」



重度の知的障害と身体障害の重複している方を対象に事業運営をしています。

散歩や外出に力を入れ、晴れた午前中は保健福祉センター周辺の散歩に出掛け、公園の桜やバラ、チューリップなど季節を感じながら活動しています。外出レクリエーションではバスで金沢動物園に行き、利用者・ご家族と職員の総勢24名で出かけました。グループ外出では電車を利用して、小田原市の生命の星・地球博物館に行ったり、宮ヶ瀬湖周辺や花菜ガーデンの散策、名水はだの富士見の湯の貸切風呂に入ったりなど様々な場所に出掛けました。事業所内でも、夏のプールや、節分・バレンタインなどの行事を行い、季節感を大事にした活動を行いました。

秦野市児童発達支援事業「たんぽぽ教室」

利用児は2歳から5歳のお子さんで、保護者の方と一緒に通い、小集団の環境で療育を提供しています。療育の内容は、今後就園や就学を控えているお子さんがスムーズに次のステージに進んでいけるようプログラムを設けました。また、子育てをする保護者の方に向けて、進路説明会や勉強会を開催するとともに、様々な生活の相談に努めました。

療育の他にも、マイクロバスを使用しての外出芋ほりや、事業所内でのクリスマス会などを企画し、楽しみながら体験を積み重ねることができるよう努めました。

居宅介護事業所「花鳥地域生活支援センター」

市内在住の身体に障害のある方のご自宅に訪問し、入浴介助や洗面・着替えなどの身体介護、調理や清掃などの家事支援、病院へ受診する際の通院介助など、一人一人が必要とするサービスを提供しました。また、介護者の負担軽減に努めるとともに、利用者が在宅生活をより良く長くおこなえるよう、柔軟なサービス提供に努めました。さらに、制度上や生活での困りごとや相談には、関係機関と共に連携した支援をおこないました。

日中一時支援事業所「ときの家」

障害のあるお子様の放課後支援や、通所などがお休みの日の支援、家族へのレスパイト支援を目的としたサービスを提供しました。利用者個々の生活上での変化に対して、受けた相談を関係機関へ報告・調整することで、家族の負担軽減にも繋がられました。また活動では、事業所周辺の散歩で季節を感じながら、地域の方々とのコミュニケーションを図るとともに交通事故などに注意を払い、安全に楽しく過ごせるよう支援しました。

地域福祉拠点「とかわサポートセンター」

地域の中にある福祉拠点として、地元とのつながりを意識し、障害のある方だけでなく、子供から高齢者の方まで、誰もが住みやすい環境を共に創っていくことを目的に交流をおこなってきました。地域の方と一緒に企画をし、春は流しそうめんや竹のマイ箸作りをおこないました。残念ながら秋は荒天により中止となりましたが、年に数回、交流会などを企画しています。また、地域行事にも積極的に参加するとともに活動室を毎週1日開放し、地域の方のコミュニティーの場として利用していただきました。



令和元年度 財務諸表について

ぶなの森第83号の別紙にて、令和元年度の財務諸表を添付しております。貸借対照表
資金収支計算書・事業活動計算書を掲載しておりますのでご確認ください。

また、この書類の詳細および他の報告書類につきましては
当法人ホームページまたはWAMNETからご覧ください。



ワークセンター出店情報 など

令和2年4月以降の秦野ワークセンターの出店につきましては、関連イベントの中止により
すべて取り止めになっています。また、夏以降につきましても未定となっている状態です。
引き続き、ご購入などは事業所直接か委託販売先で、注文・お問合せにつきましてはお電話
またはメールでのご用命となっておりますので、宜しくお願い致します。

・秦野ワークセンター

電 話：0463-75-3343 FAX：0463-71-5984

メール：hadano@jousei.or.jp



レジ袋の代わりに、是非クラフトバックを。→

施設内行事は頑張っています！（季節の収穫祭 など）



6月からの外出は、規模を縮小して
おこなえるようになってきました。

「七福神巡り」などを少人数で回数
をわけて実施。通所事業でのすべての
イベントにおいて感染対策を十分に
したうえで継続しています。

この時期は、筍やじゃがいもなどの
収穫祭をおこないました。採りたて
をその場で焼いて、お塩でいただく
という、素材を楽しむ山の贅沢。

このコロナ禍でも様々な
活動を頑張っています。



彩り茶房 中止のご案内

令和2年度実施の「彩り茶房」につきましては
上半期すべて中止となっております。

今後の再開予定は11月からとなっております
ので、日程や詳細につきましては、法人ホーム
ページや広報誌等でお伝えいたします。

● 詳細・お問い合わせは

丹沢自律生活センター総合相談室

TEL 0463-71-5872（直通）

あとかき

物品の調達も儘ならない状態ですが、
沢山の方に支えていただいております。
記載を辞退された個人・企業様からの
ご厚意や寄付金寄贈品に対しましても
心から御礼申し上げます。

社会福祉法人 常成福祉会
令和元年度 財務諸表の公開について

令和元年度決算について、令和2年6月3日の理事会（決議の省略）で承認され、令和2年6月20日の定時評議員会において決議されましたので、ここに貸借対照表・資金収支計算書・事業活動計算書を公開いたします。

貸借対照表			
令和2年3月31日現在（単位：円）			
資 産 の 部		負 債 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
流動資産	180,986,091	流動負債	46,472,427
現金預金	88,922,674	事業未払金	44,026,891
事業未収金	90,412,155	1年以内返済予定設備資金借入金	2,000,000
商品・製品	442,650	預り金	11,393
仕掛品	0	職員預り金	429,143
原材料	483,619	前受金	5,000
立替金	415,658	固定負債	65,240,650
前払金	309,335	設備資金借入金	2,000,000
仮払金	0	退職給付引当金	63,240,650
固定資産	1,130,716,586	負債の部合計	111,713,077
基本財産	663,535,110	純 資 産 の 部	
土地	286,534,600	基本金	282,517,619
建物	377,000,510	国庫補助金等特別積立金	291,031,591
その他の固定資産	467,181,476	その他の積立金	333,588,739
土地	28,121,533	次期繰越活動増減差額	292,851,651
建物	0	次期繰越活動増減差額	292,851,651
構築物	14,566,890	（うち当期活動増減差額）	16,504,457
車両運搬具	4,122,643		
器具及び備品	21,372,848		
権利	1,274,024		
ソフトウェア	525,149		
退職給付引当資産	61,750,050		
法人退職給付引当資産	1,490,600		
その他の積立資産	333,588,739		
差入れ保証金	369,000		
その他の固定資産	0	純資産の部合計	1,199,989,600
資産の部合計	1,311,702,677	負債及び純資産の部合計	1,311,702,677

資金収支計算書	
(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日 (単位: 円)	
事業活動による収支	決算額
就労支援事業収入	3,603,041
障害福祉サービス等事業収入	545,096,032
医療事業収入	1,417,959
その他の事業収入	1,454,045
借入金利息補助補助金収入	0
経常経費寄付金収入	325,000
受取利息配当金収入	393,128
その他の収入	5,636,777
事業活動収入計(1)	557,925,982
人件費支出	428,750,547
事業費支出	58,696,346
事務費支出	33,998,196
就労支援事業支出	3,544,985
支払利息支出	0
その他の支出	1,446,780
事業活動支出計(2)	526,436,854
事業活動資金収支差額(3)=1-2	31,489,128
施設整備等による収支	
施設整備等補助金収入	3,570,000
施設整備等収入計(4)	3,570,000
設備資金借入金元金償還支出	2,000,000
固定資産取得支出	8,067,327
固定資産除却・廃棄支出	0
施設整備等支出(5)	10,067,327
施設整備等資金収支差額(6)=4-5	△ 6,497,327
その他の活動による収支	
積立資産取崩収入	4,464,140
その他の活動収入計(7)	4,464,140
積立資産支出	32,007,100
その他の活動支出計(8)	32,007,100
その他の活動資金収支差額(9)=7-8	△ 27,542,960
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計	△ 2,551,159
(11)=3+6+9-10	
前期末支払資金残高(12)	138,138,554
当期末支払資金残高 11+12	135,587,395

事業活動計算書	
(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日 (単位: 円)	
サービス活動増減の部	決算額
就労支援事業収益	3,603,041
障害福祉サービス等事業収益	545,096,032
医療事業収益	1,417,959
その他の事業収益	1,454,045
経常経費寄附金収益	325,000
その他の収益	3,169,993
サービス活動収益計(1)	555,066,070
人件費	430,493,507
事業費	58,696,346
事務費	33,998,196
就労支援事業費用	3,450,878
減価償却費	34,708,897
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 21,858,357
サービス活動費用計(2)	539,489,467
サービス活動増減差額(3)=1-2	15,576,603
サービス活動外増減の部	
受取利息配当金収益	393,128
その他のサービス活動外収益	2,466,784
サービス活動外収益計(4)	2,859,912
その他のサービス活動外費用	1,446,780
サービス活動外費用計(5)	1,446,780
サービス活動外増減差額(6)=4-5	1,413,132
経常増減差額(7)=3+6	16,989,735
特別増減の部	
施設整備等補助金収益	3,570,000
固定資産受贈額	0
特別収益計(8)	3,570,000
固定資産売却損・処分損	201,175
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△ 231,897
国庫補助金等特別積立金積立額	4,086,000
特別費用計(9)	4,055,278
特別増減差額(10)=8-9	△ 485,278
当期活動増減差額(11)=7+10	16,504,457
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	302,147,194
当期末繰越活動増減差額(13)=11+12	318,651,651
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	200,000
その他の積立金積立額(16)	26,000,000
次期繰越活動増減差額	292,851,651
(17)=13+14+15-16	